

水島 郁子

高等司法研究科・教授

【研究】

日本医学会総会、労働政策研究会議、日本労働法学会等で、報告した。
科研費基盤(C)による研究を昨年に引き続き行った。今年度は6回の研究会を開催し、報告もした。
『企業変動における労働法の課題』(有斐閣)を、共編者として出版した。

【教育】

法学研究科博士前期課程の学生1名、博士後期課程の学生1名を指導した。博士前期課程の学生は標準修了年限(2年)で修士の学位を取得し、博士後期課程に進学した。
引き続き、共通教育のオムニバス講義(「現代の差別を考えるー女性学・男性学」)に協力した。

【管理運営】

8月までは理事補佐、9月以降は男女共同参画・社会学連携室員(副理事)として、大学の男女共同参画に関わる業務を担った。8月までは男女共同参画推進オフィス副室長、9月以降は男女共同参画推進委員会副委員長として、男女共同参画の基本政策を主担当とし、女性活躍推進法に基づく大阪大学一般事業主行動計画の原案等を作成した。

【社会貢献】

日本労働法学会の理事として学会運営に携わるとともに、学会講座の編集委員である。
日本社会保障法学会の理事・企画委員として学会運営に携わるほか、あり方検討委員会の委員長として学会開催回数を年2回から年1回に変更する提言を行った。
法務省、厚生労働省、大阪労働局、文部科学省、日本学術振興会、豊中市等から、委員等を委嘱され、業務に従事した。